

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	気仙沼リアス調理専門学校
設置者名	学校法人 晃陽学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
衛生専門課程	調理マイスター科		240	160	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	気仙沼リアス調理専門学校
設置者名	学校法人 晃陽学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

刊行物「学校情報」を学校事務局に設置し閲覧可とする。
入手方法：事務局窓口にて要請を受けて手渡し。

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	私立高等学校校長	平成31年4月1日～令和3年3月31日	法人の会計、運営全般の確認
非常勤	茨城県議会議員	平成31年4月1日～令和3年3月31日	法人の会計、運営全般の確認
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	気仙沼リアス調理専門学校
設置者名	学校法人 晃陽学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業計画書(シラバス)の作成過程 <ul style="list-style-type: none"> 毎年12月 現行の教育課程の見直し、次年度時間割の編成 毎年1月 校内会議において授業目標等の意見交換 毎年3月 外部講師への授業およびシラバス作成依頼・提出 ・ シラバスの公表時期 入学年度の5月 	
授業計画書の公表方法	
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>定期考査及び、毎授業時間の出席状況、授業態度を考慮して成績を評価する。実習においては技術の習得状況も考慮する。</p> <p>講義は前期、後期考査等の素点70%、出席状況、授業態度等の平常点30%、実習は前期、後期考査等の素点50%、出席状況、身だしなみ、授業態度等の平常点50%。また、校外研修等の評価も加味する。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>前期・後期それぞれの定期考査において、全科目の合計点の平均を算出する。(成績100点満点) 6段階で指標の数値を決め、算出した点数の分布状況を学科ごとに作成し相対順位を把握する。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>調理師免許取得のための法律に基づき授業科目を設定。目指す免許(資格)に対して必要な知識及び技能を修得させることを目的とし、教育課程に基づく履修時間のすべての出席をすることと、定期考査において60%以上の得点を取ることで単位を修得したものと認定し、その単位を取得したものにおいて進級、卒業を認定する。</p> <p>担当教員が教務内規に従って各生徒の成績を評価した上で単位取得を認定し、学年末の卒業・進級判定会議での審議を経て学校長が最終認定する。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	気仙沼リアス調理専門学校
設置者名	学校法人 晃陽学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	刊行物「学校情報」を学校事務局に設置し閲覧可とする。 入手方法：事務局窓口にて要請を受けて手渡し。
収支計算書又は損益計算書	刊行物「学校情報」を学校事務局に設置し閲覧可とする。 入手方法：事務局窓口にて要請を受けて手渡し。
財産目録	刊行物「学校情報」を学校事務局に設置し閲覧可とする。 入手方法：事務局窓口にて要請を受けて手渡し。
事業報告書	刊行物「学校情報」を学校事務局に設置し閲覧可とする。 入手方法：事務局窓口にて要請を受けて手渡し。
監事による監査報告（書）	刊行物「学校情報」を学校事務局に設置し閲覧可とする。 入手方法：事務局窓口にて要請を受けて手渡し。

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		専門課程	調理マイスター科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2,010 単位時間/単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		人	人	人	人	人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 2年間で調理技術の基礎から応用を学ぶ。また、調理師免許取得に必要な基礎知識と教養を身につける。2年次は食の地域学やフードサービス実習など、幅広く食分野を学ぶ内容をカリキュラムに取り入れ、実践力や応用力のある調理師を目指す。
成績評価の基準・方法
（概要）定期考査及び、毎授業時間の出席状況、授業態度を考慮して成績を評価する。実習においては技術の習得状況も考慮する。 講義は前期、後期考査等の素点70%、出席状況、授業態度等の平常点30%、実習は前期、後期考査等の素点50%、出席状況、身だしなみ、授業態度等の平常点50%
卒業・進級の認定基準
（概要）教育課程に基づく履修時間全ての出席をし、定期考査においては60%以上の得点でこの単位を修得したものと認定し、その単位を修得したものにおいて進級、卒業を認定する。

学修支援等 (概要) 単位認定に満たない者に対しては、補講、補習、追試、面接等を含め個別指導を実施。
--

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容)			
(主な学修成果 (資格・検定等))			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
人	人	%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
調理マイスター科	170,000 円	360,000 円	470,000 円	実習費、施設費
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
<p>姉妹校の学校関係者評価の実施方法や体制を基に行う予定。 重点目標を設定し、自己評価の情報収集として学生に対してカリキュラム修了時に科目評価アンケートを行う。学校関係者評価においては委員の選任・依頼を行い、自己評価を基にした評価委員会を開催し、次年度カリキュラムへ反映させる。</p>		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
学校関係者評価を確実に実施し、2021 年度末までにその結果を公表するために委員の選任を行う。		
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
2021 年度末までに評価を確実に公表する		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)
--